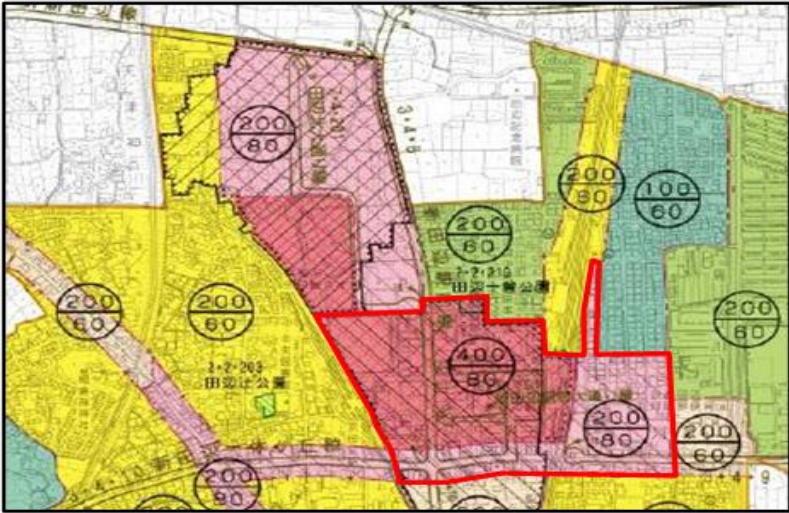
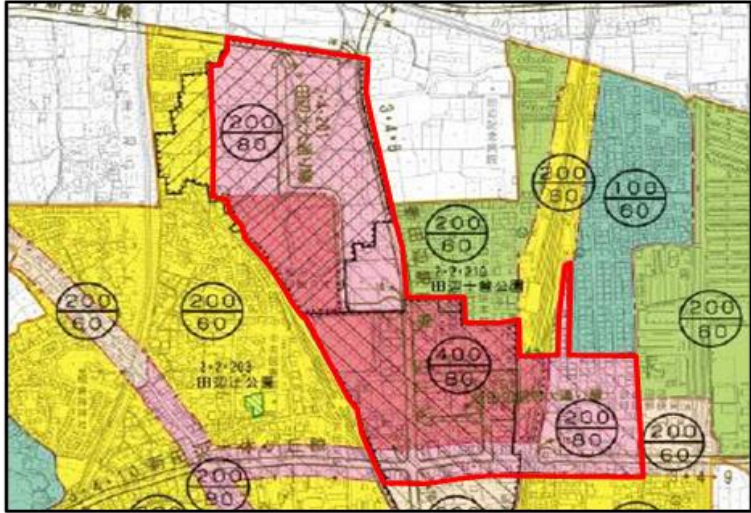


山城北地域商業ガイドライン改正案 新旧対照表

現 行	改定案
3 地域内の中心市街地エリア (略) J R 京田辺駅及び近鉄新田辺駅周辺地区の概要 1 区域 市施行の田辺地区特定土地区画整理事業区域内の商業地域、近隣商業地域及び近鉄新田辺駅東側の近隣商業地域  2 中心市街地エリアの現況・特色 J R・近鉄が並走する市の正面玄関。駅前には京阪バスと奈良交通バスが乗り入れ、J R 京田辺駅周辺には核店舗としてアル・プラザを中心にオフィス・ビル・店舗が立地、近鉄新田辺駅西側は多くの飲食店が集積、鉄道乗換え客で賑わっている。 一方、新田辺駅東地区においては、既存商店街での空き店舗が目立	3 地域内の中心市街地エリア (略) J R 京田辺駅及び近鉄新田辺駅周辺地区の概要 1 区域 J R 片町線と近鉄京都線の上に位置する商業地域、近隣商業地域及び近鉄新田辺駅東側の近隣商業地域  2 中心市街地エリアの現況・特色 J R・近鉄が並走する市の正面玄関。駅前には京阪バスと奈良交通バスが乗り入れ、J R 京田辺駅周辺には核店舗としてアル・プラザを中心にオフィス・ビル・店舗が立地、近鉄新田辺駅西側は多くの飲食店が集積、鉄道乗換え客でにぎわっている。 また、現在、土地区画整理事業が進行している田辺北地区については、京都府南部地域の拠点として、今後、複合型公共施設や商業施設等都市機能の集積が見込まれている。 一方、新田辺駅東地区においては、既存商店街での空き店舗が目

つことから、空き店舗活用やにぎわいイベント等の活性化に向けた取組が行っている。

3 中心市街地エリアの総面積
約 1 7 7 千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況
(略)

5 中心市街地エリアの返上と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

空洞化が進む近鉄新田辺駅東側地区の利便性の向上を図るため、地元商業者や市民組織と行政の協働による活性化を図る。

都市基盤整備とあわせて商業集積地が形成されてきたが、今後とも、買い物に便利で、市内外からも多くの人を訪れ、活気にあふれた商業活動が展開されるまちづくりが必要であり、そのため、商業者が行う地域コミュニティの核となるような魅力ある店舗づくりや共同事業について支援を行う。

◆ 数値目標
(略)

6 お問い合わせ先
(略)

立つことから、空き店舗活用等の活性化に向けた取組が行われている。

3 中心市街地エリアの総面積
約 3 3 5 千㎡

4 中心市街地活性化基本計画の策定状況
(略)

5 中心市街地エリアの返上と将来目標

◆ 市街地整備改善及び商業等の活性化の基本方向

近鉄新田辺駅西側については、今後、新市街地に整備が計画されている「複合型公共施設」を核として、商業・業務をはじめ、公共サービスや文化等の多様な都市機能を集積させ、既存の商業集積地と一体的にまちづくりを進める。

空洞化が進む近鉄新田辺駅東側地区の利便性の向上を図るため、地元商業者や市民組織と行政の協働による活性化を図る。

◆ 数値目標
(略)

6 お問い合わせ先
(略)

4 地域内の特定大規模小売店舗の誘導エリア (略)

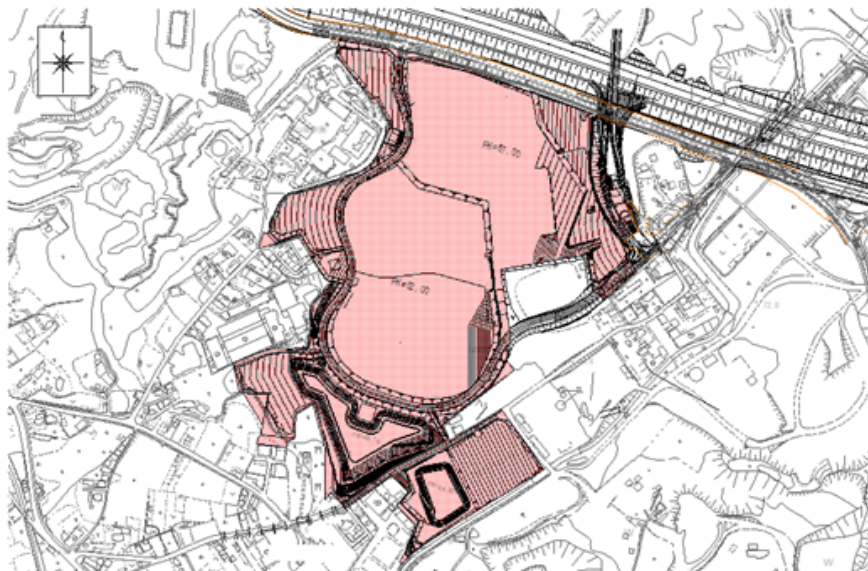
東部丘陵地長池地区の概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

城陽市長池五社ヶ谷等（中心市街地外）

◆ 現況用途地域 商業地域



2 誘導エリアの総面積 約 2 7 0 千 m²

3 周辺地域の現況 (略)

4 地域内の特定大規模小売店舗の誘導エリア (略)

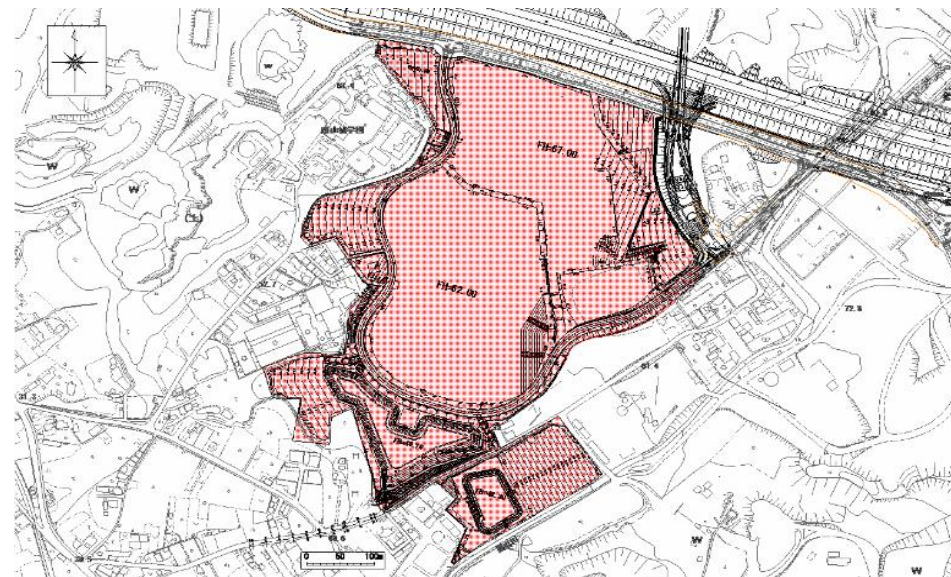
東部丘陵地長池地区の概要

1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

城陽市令涼つむぎ等（中心市街地外）

◆ 現況用途地域 商業地域



2 誘導エリアの総面積 約 2 7 6 千 m²

3 周辺地域の現況 (略)

4 主要駅（バス停）及び距離
（略）

5 お問い合わせ先
（略）

J R 京田辺駅・近鉄新田辺駅周辺地区の概要

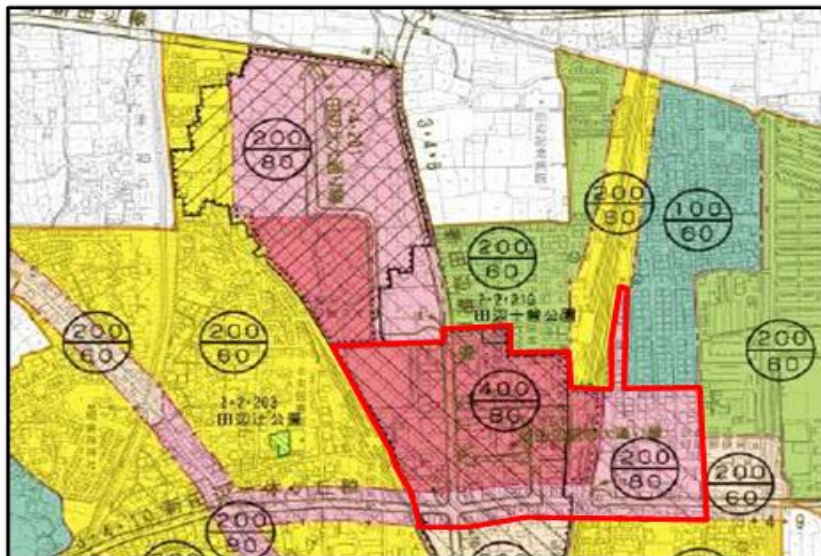
1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

市施行の田辺地区特定土地区画整理事業区域内の商業地域、近隣商業地域及び近鉄新田辺駅東側の近隣商業地域
（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

商業地域、近隣商業地域



4 主要駅（バス停）及び距離
（略）

5 お問い合わせ先
（略）

J R 京田辺駅・近鉄新田辺駅周辺地区の概要

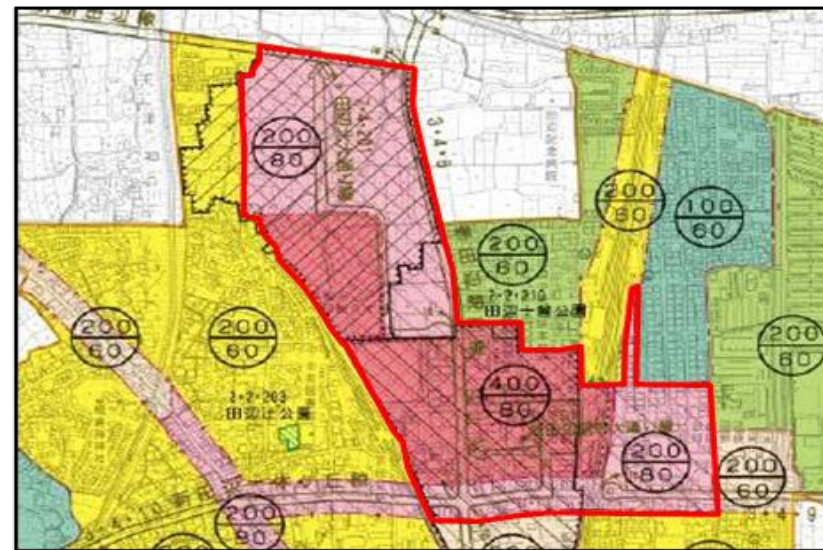
1 誘導エリアの区域

◆ 字名等

J R 片町線と近鉄京都線の上に位置する商業地域、近隣商業地域及び近鉄新田辺駅東側の近隣商業地域
（中心市街地内）

◆ 現況用途地域

商業地域、近隣商業地域



2 誘導エリアの総面積
約 1 7 7 千㎡

3 周辺地域の現況

J R・近鉄が並走する市の正面玄関。駅前には京阪バスと奈良交通バスが乗り入れ、J R京田辺駅周辺には核店舗としてアル・プラザを中心にオフィス・ビル・店舗が立地、近鉄新田辺駅西側は多くの飲食店が集積、鉄道乗換え客で賑わっている。

一方、新田辺駅東地区においては、既存商店街での空き店舗が目立つことから、空き店舗活用やにぎわいイベント等の活性化に向けた取組が行われている。

4 主要駅（バス停）及び距離
（略）

5 お問い合わせ先
（略）

2 誘導エリアの総面積
約 3 3 5 千㎡

3 周辺地域の現況

J R・近鉄が並走する市の正面玄関。駅前には京阪バスと奈良交通バスが乗り入れ、J R京田辺駅周辺には核店舗としてアル・プラザを中心にオフィス・ビル・店舗が立地、近鉄新田辺駅西側は多くの飲食店が集積、鉄道乗換え客でにぎわっている。

また、現在、土地区画整理事業が進行している田辺北地区については、京都府南部地域の拠点として、今後、複合型公共施設や商業施設等都市機能の集積が見込まれている。

一方、新田辺駅東地区においては、既存商店街での空き店舗が目立つことから、空き店舗活用等の活性化に向けた取組が行われている。

4 主要駅（バス停）及び距離
（略）

5 お問い合わせ先
（略）